

第37回定期演奏会（平成15年2003年7月17日（木）18:30～）岩手県民会館中ホール
～第2次北欧合唱交流演奏旅行帰朝公演～



<プログラム>

- 指揮 山田靖了
ピアノ 森明美
- I スウェーデンの曲
Kung Liljekonvalje (王、スズラン)
Tjuv och tjuv, det ska du heta (あなたは泥棒)
- II 日本抒情歌曲集より
林光 編曲
叱られて 清水かつら 詩/広田龍太郎 曲
お菓子と娘 西条八十 詩/橋本国彦 曲
曼珠沙華 北原白秋 詩/山田耕筰 曲
銚をおさめて 時雨音羽 詩/中山晋平 曲
- III 珠玉の合唱曲
Ave Maria アルカデルト 作曲
Ave Maria パレストリーナ 作曲
Ave Maria バッハ・グノー 作曲
Ave Maria オーバン 作曲
Agnus Dei フォーレのレクイエムより
- IV 賛助出演
女声合唱団「もりおかセンチュリー・クワイアー」
指揮 侘美 淳
ピアノ 千菅道子
女声合唱組曲「青い麦」より
関根栄一 作詞/寺島尚彦 作曲
青い麦
夕なぎの海
景色がわたしを見た
はつ雪
- V 混声合唱組曲「おしまずき抒抄」
北島万紀子 作詞/大中恩 作曲
1. 夙
2. 凧
3. 風
4. 凧
5. 凧
6. 鳳凰

<団員名簿・出演者名簿>

砂子田	タカ子	< Sop >	田	和	子
小川	クニ子		菅	野	子
駒木	美和子		佐	藤	子
田中	育子		中	村	子
藤井	明子		築	部	子
尾形	和恵	< Alt. >	鎌	澤	子
川村	富喜子		北	田	子
寒河江	怜子		佐	治	子
佐々木	紀子		々	和	子
関井	トミ子		辰	文	子
外館	光代		松	乃	子
尾形	利夫	< Ten. >	門	脇	郎
熊谷	昌晃		鈴	木	一
千葉	昌男		松	坂	攻
一ノ渡	義巳	< Bas. >	佐	藤	尚
佐藤	隆一		高	橋	史
照井	昭		日	野	夫
宮田					

<指揮者・ピアニスト・役員>

常任指揮者	山田	靖了
ピアニスト	森明	美
会長	佐藤	洗攻
委員長	松坂	伸一
副委員長	長鈴	仲明
会計	小川	クニ子
パートリーダー	Sop.	駒木
	Alt.	尾形
	Ten.	尾形
	Bas.	佐藤
実行委員長	門脇	次郎

<主な活動> 平成15年 2003年

- 4/17(木) 歓迎会(福祉会館) 梁部和歌子、熊谷晃
- 5/18(日) 第32回盛岡芸術祭出演
- 6/21(土)～22(日) 強化合宿(岩手山青年の家)

- 7/5(土) 強化練習
- 7/16(水) ゲネプロ
- 7/17(木) 第37回定期演奏会(県民会館中ホール)
- 8/7(木) 総会
- 9/12(金) 宇都宮大学混声合唱団「20th Summer Concert in もりおか」(盛岡劇場) 賛助出演
- 10/6(月) 送別会(森明美さん)
- 10/18(土) 「コーラス・ライネット風」第15回定演(普代村) 賛助出演
- 10/21(火) 佐藤洗「抒情歌の夕べ」後援
- 11/16(日) 「上山混声合唱団フロイデ」定演賛助出演
- 12/7(日) 第56回岩手芸術祭出演(県民会館)
- 12/20(土) 忘年会(鶯山荘)

ご 挨拶

北欧の心と音につつまれて

混声合唱団北声会委員長 松坂 攻

常任指揮者 山田 靖了

今宵は第37回定期演奏会においでいただきまして本当にありがとうございます。昨年10月下旬に北欧（スウェーデン、ノルウェー）を訪問して合唱交流をして参りました。最初で最後かもしれないと思った2000年に引き続いての2度目の大事業でした。前回に比べて、参加者は10人ほど少なかったものの、少数「精鋭」と言う言葉で自らを叱咤しながら行った結果、前回を上回る成果を収めることができました。ストックホルムの合唱団はアマチュアと言うにはおそれおおく、セミプロと言っていいほど洗練された高度な技術と音楽性を持った合唱団でした。オスロの合唱団は、逆に大変温かい家庭的な雰囲気を持った合唱団でした。二つの合唱団とも、演奏会後のレセプションでは、温かく和やかな雰囲気の中での、互いの国の踊りや歌の交歓交流は、前回もそうだったように大きな財産になりました。

ストックホルム市庁舎のレンガの壁を這う真っ赤な鳥、雨に濡る黄色く色づいた街路樹、フィヨルドのエメラルドグリーンの美しさとともに、北欧の人達の純朴で親切な人柄と、透き通った美しい歌声は今でも私たちの心に残っています。

今回は、第2次北欧合唱交流旅行帰国公演と題して、スウェーデンで仕入れた曲をご披露したいと思います。また、毎度目標に掲げながらなかなか実行できなかった暗譜に取り組みました。指揮者の意図するところを、十分とまではいかなくても何とか受け止めて演奏したいと思つてのことです。年齢を重ねるごとに難しくなることに敗れて諦めました。今年度は20代の男声、女声の加入もあり、この二人を軸に若返り（年齢はもちろん、声の若返りも）を図りたいと思つております。

また、今回は、「もりおかセンチュリークワイアー」の賛助出演を得ましたので、女声コーラスのしなやかで美しい合唱もお楽しみいただけるものと思っております。

今宵の定演を機会に、皆様の一層のご支援とご賛助をお願いいたします。それでは、ごゆっくりお過ごし下さい。

昨年10月12日盛岡を立ち、ストックホルムとオスロでの交流演奏会、両市の観光を行ない20日無事盛岡に帰りました。演奏会では日本の叙情曲や民謡を紹介し、「さくら」「ふるさと」「筑城の月」、それぞれの国の曲を合同演奏し、熱烈な歓迎を受けて第二次北欧演奏旅行を大成功に終えました。

15日はストックホルムのヘガリット教会ホールで、ヘガリット・モテット合唱団との演奏会。65人による合同演奏は心をつなげたレベルの高いものとなり、「柔らかな歌声と心地よい響き」に酔いながら、至福の指揮をさせていただきました。

17日は、オスロ郊外アスケルでサンコレヨム・アスケル合唱団との演奏会。反響板の無いホールでしたが、美しく響かせる技量と声の輝き、25名が寄り添って歌う暖かい音楽に魅了されました。前日の16日は、合同で発声練習を行ないましたが色々な音による練習はとてもユニークでした。

また、アスケル合唱団を紹介していただき、今回もノルウェーでのガイドと通訳をお願いしたモモさん（オスロ在住、熊本県出身）のお宅に全員がお招きを受け、豪華な日本食のおもてなしをいただいた事なども忘れられません。

北欧のおおらかな暖かい心に抱かれ、澄んだ声と美しさを感得し、アンサンブルの魅力を堪能しその有り様を教わってまいりました。二つの合唱団とも来日を希望しておりかなえられればと思つています。

今回の参加は多くはありませんでしたが、有志の方々のご参加をいただくなど、多くの方々から沢山のご援助をいただきました。心から厚くお礼申し上げます。

今宵は、佗美淳先生ご指導による屈指の実力派合唱団、もりおかセンチュリークワイアーの皆様をお招きし、演奏会に色彩を添えていただきました。私共はヘガリット合唱団から紹介された二曲も演奏します。この旅行を通じて得た『なにか』を、お土産として皆様方へお届けしたいものと思つています。



常任指揮者
山田 靖了
(筆名 靖)

【略歴】

- 盛岡市出身。昭和38年山形大学特設音楽科卒業。
- 大橋、花巻南、盛岡第二、宮古、一関第一、盛岡第一の各校に勤務し2001年春退職。
- 平成3年全国日本合唱コンクール全国大会（岡山）において、県内初の金賞。4年（仙台）銅賞（共に一関第一）、12年（郡山）銀賞（盛岡第一）を受賞。
- 現在 岩手県合唱連盟副理事長、混声合唱団「北声会」、一関女声合唱団指揮者、21世紀の合唱を考える合唱人集団「音楽塾」会員。



ピアニスト
森 明美

【略歴】

- 岩手県立盛岡第二高等学校卒業
- 国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業
- 瀬川麗子、野呂愛子、菅野洋子氏に師事

賛助出演 女声合唱団「もりおかセンチュリークワイアー」



お祝い

女声合唱団もりおかセンチュリークワイアー
代表 下田幸枝

多くのファンが心待ちにしている混声合唱団「北声会」定期演奏会が、今年も盛大に開催されることを心からお祝い申し上げます。本日は、私たちもりおかセンチュリークワイアーがお招きに与り、ステージに立たせていただきますことをたいへん光栄に存じます。

もりおかセンチュリークワイアーは、1990年、盛岡市の姉妹都市であるカナダ・ビクトリア市を訪問する親善合唱団として結成した女声合唱団です。二度にわたるビクトリア市での演奏会といそべし男声合唱団をお迎えしてのジョイントコンサート、千葉県で開催された国民文化祭出演は、懐かしい思い出になっています。

佗美淳先生にご指導いただくようになって11年になりますが、コーラスの奥深さを教えていただき、年齢を超えて美しいハーモニーづくりに日々チャレンジしております。単独のコンサートも4回を数えましたが、敬愛する佗美淳先生のさめ細やかなご指導のもと、熱意あふれる千菅道子先生の美しいピアノに合わせて歌える幸せに、団員一同いつも感謝しています。

今宵は、詩情豊かな自然に寄せる想いを、情感をこめて演奏できればと念じております。ご来場のみなさまと北声会のみなさまへ感謝の気持ちを添えて…。

指揮者
佗美淳



- ・1952年生 紫波町出身
- ・中学校音楽の教員
- ・現在 岩手大学教育学部附属中学校 副校長
- ・1992年から 盛岡センチュリークワイアーを指導

ピアニスト
千菅道子



- ・岩手大学教育学部音楽科卒業
- ・中学校教員を経て、現在ピアノ教室主宰

SOPRANO

阿部 紀子
油部 寛子
遠藤 経子
遠藤 藤子
小川 小美
小金 小枝
杉本 飛子
藤原 昭子

MEZZO SOPRANO

岩間 節子
久慈 林子
下田 美子
辻村 幸子
松本 盛子
山田 山子
山田 吉子
吉田 露子

ALTO

荒屋 藤子
石加 宏子
菊池 工子
野内 子枝
下田 幸子
下田 実子
下田 実子





宇都宮大学混声合唱団 第20回サマーコンサート in 盛岡 2003年9月12日 盛岡劇場メインホール

賛助 混声合唱団「北声会」指揮 山田靖子 ピアノ 森 明美

指揮 栗山文昭 学生指揮 高橋等望使 ピアノ 石島彰子 シンセサイザー 横山琢哉 演出 朝比奈尚行



第15回コーラスライオット風記念コンサート
平成15年10月18日 於 普代村自然休養村管理センター



上山混声合唱団 10周年記念 フロイデ 第4回定期演奏会 混声合唱団 北声会 賛助出演 平成15年11月16日 (於 上山市市民会館)



D-17

第56回 岩手芸術祭 合唱祭

2003年12月7日
岩手県民会館大ホール

享月 日 新 聞 2003年(平成15年)12月12日 金曜日



2年後のフォーレのレクイエム全曲のマスターを目指す北声会＝盛岡市で

67年に現在の名になった。最古参は発足のころからいる佐藤 光さん(74)。「来て激い、帰る時はいつも気分がよくなる。定期演奏会や演奏旅行を目指して練習します」

00年3月と02年10月には、北欧演奏旅行が実現した。スウェーデンの教会などで、現地の合唱団とジョイント。「浜辺の歌」や「木曾節」など、日本らしさにあふれる歌も披露した。歌の後には、一緒にさへ。

90・96388・499

活動広げ海外演奏旅行も

♪「母なる大地」
毎週木曜の夜、盛岡市の四ツ家教会では、そんな歌

おらほの仲間

> 154 <

混声合唱団「北声会」

声が出そえる。メンバーは、20代から70代までの男女約40人。「互いの音を聴き合って協調し合おう」と、指揮者の山田靖之さん(63)。練習の終わりに「ブラボー」などと、いいところをほめる。

会の歴史は古い。母体の「杜陵合唱研究会」は、1946年、盛岡に疎開していた音楽家を指導者に発足した。何度か名が変わり、

最近では11月、山形県上山市の合唱団の定期演奏会に、賛助出演した。来年4月には、北欧などの音楽家も招き、東京で開く合唱イ

んき踊りまでして、盛り上がった。

演奏旅行で初めて海外旅行をした委員長の高松 攻さん(61)は、「温かく迎えてくれて、音楽でも分かってくれた」と、成功を喜んでいる。